



教育後援会報

京都府立農芸高等学校

第35号

平成30年3月

発行 京都府立農芸高等学校 教育後援会 編集 同事務局

「おいしいさとは何か？」

味を感じる仕組みについて科学的に説明されたのは最近で、西暦2000年に米国研究者が味覚受容体という呈味物質を識別するセンサーの正体を発見した。これにより「昆布だし」や「カツオだし」の味の相乗効果が解明できた。

成長後の個人における「おいしさ」は、人によって大きく異なる。個人ごとの好き嫌いは、動物には本能的に備わっていて、脳が判定している。「おふくろの味」は、実は小さい頃に心に刷り込まれた味だ。正しい食習慣を身に付けるためには、小さい頃からの食事体験が重要である。

3 「アミノ酸を利用して高品質食資源を開発」

高橋先生（応用動物科学）

必要量に満たないタンパク質、特に必須アミノ酸欠如で、成長遅滞や筋萎縮がおこる。そのメカニズムをラットやマウスで研究し、栄養失調を起こさせる。この機構を利用してプロイラーから鶏の「フォアグラ（白肝）」を作り出す。

結びに当たり、卒業生の皆さんの前途を祝し、合わせて在校生の皆さんも含め、今後さらなる活躍を期待しています。

1 「おいしいさとは何か？」

味を感じる仕組みについて科学的に説明されたのは最近で、西暦2000年に米国研究者が味覚受容体という呈味物質を識別するセンサーの正体を発見した。これにより「昆布だし」や「カツオだし」の味の相乗効果が解明できた。

成長後の個人における「おいしさ」は、人によって大きく異なる。個人ごとの好き嫌いは、動物には本能的に備わっていて、脳が判定している。「おふくろの味」は、実は小さい頃に心に刷り込まれた味だ。正しい食習慣を身に付けるためには、小さい頃からの食事体験が重要である。

3 「アミノ酸を利用して高品質食資源を開発」

高橋先生（応用動物科学）

必要量に満たないタンパク質、特に必須アミノ酸欠如で、成長遅滞や筋萎縮がおこる。そのメカニズムをラットやマウスで研究し、栄養失調を起こさせる。この機構を利用してプロイラーから鶏の「フォアグラ（白肝）」を作り出す。

結びに当たり、卒業生の皆さんの前途を祝し、合わせて在校生の皆さんも含め、今後さらなる活躍を期待しています。



教育後援会長 藤田 洋嗣

「農学ほど興味深い学問はないね！」「面白い魅力があるね！」と講演を聞いた経済学部や文学部の学生達が会話をしながら、私の前を通り過ぎました。

昨年6月と11月に、東京大学弥生講堂・一条ホールにおいて開催された東京大学農学部公開セミナーに参加する機会を得ました。その中で、農業について興味深く、また印象的なお話がありましたので、ご紹介したいと思います。

2 「便利で豊かな食生活を支える農学の知恵」

牧野先生（生物・環境工学）

柿の脱渋をする際、二日酔いの原理が使われている。また、無洗米を作るには糠を糠で取る方法で処理され、白米表面の清浄度は家庭で4回洗い水で洗ったのに匹敵する。このように収穫後農産物には工夫が施されている。低温や高い二酸化炭素濃度にし、呼吸速度を落とせば、野菜・果実の鮮度を保つことができる。例えば、リンゴは酸素を少なくし、気温を下げ、二酸化炭素を多くすることで鮮度を保つ。プラスチック袋には目には見えない小さい穴をあけ、エダマメやネギやブロッコリーを包めば鮮度を保てる。トマトを袋で密封し常温で1週間置くとアミノ酪酸という、ストレス緩和作用を有する物質を蓄積する。ブロッコリーを袋で密封し2日間置くと、スルフォラファンという胃腸抑制作用を有する物質を作り出す。このように気体組成制御による鮮度保持だけでなく、さらに健康に良い物質を増やすことができる研究が進んでいる。

必須アミノ酸であるリジンを欠如させ、ブタの筋肉の脂肪交雑を引き起こさせ、霜降り豚肉を作り出す。また、飼料のアミノ酸量を調節することにより、臓器に特異的に脂肪を蓄積させることが可能であり、高品質食資源の開発や成人病の治療法や予防法の開発などに役立つと考えられる。

以上、紹介した話について、皆さんはどう考えましたか？農業の楽しさと奥深さを感じたのではないのでしょうか。

さて、教育後援会は、生徒の皆さんが在学中に能力を高める活動をする際に必要な支援を行う組織で、部活動・農業クラブ活動・学校行事などに参加する際に活用いただいております。

年々、支援する活動が増えるのは嬉しいことではありますが、その分支援に回す資金の確保に苦労しているのが現状です。卒業生の保護者の皆様には、会の主旨及び活動をご理解いただき、引き続きご支援いただきたいと思います。また、在学生の保護者の皆様には、他校にはない本会の支援制度をご活用いただき、お子様が高校生活をより一層充実できるよう励ましてあげてください。詳しくはこの会報の後ろのページにありますコーナーをご覧ください。

農学には夢がいっぱい！

平成29年度 卒業生進路決定 進路状況

平成30年1月31日現在

I. 進路状況

企業名・学校名については一部略 合格者実数

学 科	就 職	進 学	その他	合 計
農産バイオ科	31	32	1	64
(男子)	19	22	0	41
(女子)	12	10	1	23
環境緑地科	11	8	0	19
(男子)	11	7	0	18
(女子)	0	1	0	1
合 計	42	40	1	83

II. 就職内定状況

内定者実数 *下記企業名は順不同

学 科	農・建設・造園	製 造	運輸・通信	卸・小売	サービス	公務員 他	合 計
農産バイオ科	2	16	2	4	6	1	31
環境緑地科	9	1	0	0	0	1	11
合 計	11	17	2	4	6	2	42

- 【農・建設・造園】 株式会社ヤマモト、京都肉市場株式会社、水谷建設株式会社、株式会社フォービル、株式会社河原造園、株式会社植藤造園、株式会社河原勝庭園、花豊造園株式会社、(植熊)
- 【製 造】 日清医療食品株式会社、ニック工業有限会社、京都エレクトロン株式会社、株式会社虎屋、一志株式会社、山崎製パン株式会社、株式会社タイヨーアクリス、株式会社キョーテック、ボルツ株式会社、雪印メグミルク株式会社、亀岡電子株式会社、ユニチカ株式会社、石井食品株式会社、株式会社湖池屋、コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社
- 【運輸・通信】 日本郵便株式会社近畿支店、佐川急便株式会社
- 【卸・小 売】 京都日野自動車株式会社、株式会社志津屋、株式会社西利、株式会社さとう
- 【サ ー ビ ス】 有限会社溪山閣、株式会社渡月亭、株式会社J R西日本交通サービス、フェイスクリエイト、株式会社キャピタル東洋亭、モンテステリース有限会社(お好み焼 花たぬき)、株式会社ポムフード(ポムの樹)
- 【公務員 他】 自衛隊、京都府職員(初級土木)、南丹市職員(初級土木)

III. 進学合格状況

延べ人数 *下記学校名は順不同

学 科	大 学	短期大学	農業大学校	専修各種学校	合 計
農産バイオ科	13	0	4	13	30
環境緑地科	6	0	0	4	10
合 計	19	0	4	17	40

- 【国立大学】 京都教育大学(教育学部)
- 【私立大学】 京都学園大学(バイオ環境学部、経済経営学部、健康医療学部)、龍谷大学(農学部)、佛教大学(文学部)、酪農学園大学(農食環境学群)、南九州大学(健康栄養学部)、東京農業大学(生物生産学部、地域環境科学部)、花園大学(社会福祉学部)、大阪商業大学(経済学部)、京都文教大学(総合社会学科)
- 【農業大学校】 宮城県立農業大学校、京都府立農業大学校、鳥取県立農業大学校
- 【専修各種学校】 京都自動車専門学校、大阪文化服飾学院専門学校、公立南丹看護専門学校、公益財団法人軽種馬育成調教センター、大阪ECO動物海洋専門学校、大阪動物専門学校、大阪ビジュアルアーツ専門学校、大阪ベルエibel専門学校、京都コンピュータ学院、ヴェールルージュ美容専門学校、神戸動物植物専門学校、京都医療福祉専門学校、京都栄養医療専門学校、京都府立福知山高等技術専門学校、京都調理師専門学校、京都建築大学校

求人のお願

全国的に高校生の求人数は増加傾向にありますが、まだまだ厳しい状況です。求人情報がありましたら、進路指導部まで御提供をお願いいたします。

農芸高校 TEL：(0771)65-0013

会費及び寄付金についてお願い

本教育後援会は、在校生及び在職教職員の会費と卒業生及び卒業生保護者の会費と一般会員の寄付金(1口1,000円)で運営されております。出費多額の折、誠に恐縮に存じますが、深い御理解を賜り格別の御支援をいただきますようお願い申し上げます。

- 一般会員寄付金 1口 1,000円
- 在校生・在職教職員会費 年 500円
- 卒業生・卒業生保護者会費 5,000円・3,000円(卒業時に納入)

京都府立農芸高等学校教育後援会振替口座番号(京都 01080-1-9234)

ホームページの活用と 会報誌の送付について

農芸高校のホームページに教育後援会のコーナーを設け、活動内容を掲載しておりますので、御覧いただけますようお願いいたします。

なお、会報誌の送付は総会におきまして、卒業後10年までとさせていただきますので御了承ください。

「やればできる、頑張ったらできた」



校長 長谷川 清隆

教育後援会の会員の皆様には、まずまず御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育の推進に温かい御支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、今年度4月より着任させていただき、私は生徒達に、「今年度の農芸高校の大きなテーマは、『やればできる、頑張ったらできた』である。このことを今年度は一つでも多く体験し、自分自身への自信をより深めてほしい。」と常々言ってきました。

これは、本校の学校経営の重点にある「自己有感の高揚」を具体的に説明するために述べたものであります。翻って、学校としての今年度の『やればできる、頑張ったらできた』の事例を二つ報告いたします。

まず、一つ目は「第2回全国高等学校農業教育研究協議会生産技術・経営部会京都大会兼第53回全国農業経営者育成高等学校研究協議会」を事務局校として準備し、大会を無事終えられたことです。数年前から、先催県の視察と調整を重ね準備し、7月27日・28日の両日、文部科学省、農林水産省、全

国農業校長会からの来賓、そして全国からの参加者約120名をむかえ、研究協議会をルビノ京都堀川、本校を会場とし実施しました。特に二日目は、本校の船南寮と農場の見学を行いました。寮の食堂での昼食は、本校卒業生の西田浩二氏に料理をお世話になり、農場においては、本校の生徒が各コースの取組を工夫をこらして、しっかりと説明しました。男子1年生全寮制を執っておきながら、この大会事務局を担当できていなかった課題を克服することができました。

二つ目は、農産バイオ科野菜コースのトマトの「GLOBAL G.A.P.」認証取得です。このことは、本校野菜コースのトマト生産が世界水準の生産技術と環境である証であり、全国の農業高校でも屈指のレベルである確信を得ることができました。年度当初から改善に取り組んだ野菜コースの生徒諸君、先生方の努力に敬意を表するとともに、今後は「GLOBAL G.A.P.」認証取得に恥じない生産・環境改善活動が責務であること念頭に、取組みを進めていきたいと考えております。

今年度、農業クラブ活動、部活動をはじめ、ほかにも多くの『やればできる、頑張ったらできた』がありますが、本会報紙面でご確認いただければ幸いです。今後もしっかりと本校が「次のステージ」に向かえるよう、取り組んでまいりますので、引き続き、御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

GLOBAL G.A.P.

今年度、野菜コースでは、生産している施設栽培トマトのGLOBAL G.A.P.の認証の取得に取り組み、11月17日(金)に行われた公開審査を受け12月15日(金)に認証を取得しました。

GLOBAL G.A.P. (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) (以下、GAP)とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。GAP認証を受けた農作物は2020年の東京オリンピック・パラリンピックでの食料調達要件であり、現在、世界中から注目されています。

野菜コースでは、春作と秋作の年2回トマトの養液栽培を行っています。従来から農薬だけに頼らずに、摘葉作業や側窓に防

技能五輪全国大会

今年も、プロの青年造園家と競い造園技能の日本一を目指し、11月24日〜27日に栃木県で行われた第55回技能五輪全国大会に京都府代表として本校から出場しました。

環境緑地科造園コース、造園部では14年連続でこの大会の「造園」職種に出場し、過去の大会においては銀賞、敢闘賞を獲得しています。

今回で55回を迎える技能五輪とは青年技能者の技能レベルの日本一を競う大会で40職種、1,000人以上が参加する大会です。

虫ネットを設置することで病害虫の発生頻度を最小限にする総合的病害虫管理 (IPM Integrated Pest Management) 栽培方法を実施しています。株式会社AGICの白川洋輔氏によるGAP取得認証に関する指導を6月から10月にかけて5回受け、農場に潜む問題点を洗い出し、課題研究や総合実習の授業で農場施設や作業工程の改善に取り組みました。また、10月27日(金)に京都府農林水産部農産課の担当職員を講師に迎え、2、3年生

野菜コース生徒対象にGAPに関する講習を実施し、生徒自らが生産工程の見直し等を考える機会となりました。来年度は、継続認証および販路拡大に努力したいと考えています。



この大会の造園競技に京都府代表として本校から1年生、大西陽生郎が参加しました。競技参加者は過去最高の52名でその中でも大西は最年少の参加となりました。

競技内容は、3.5m x 2.5mの区画に石積み、竹垣製作、木工、植栽などを仕様に基づいて仕上げ、寸法の正確さと出来栄の美しさが求められる競技です。すべての要素をやり遂げ、延べ10時間、2日間で完成させる課題となります。

競技課題の発表は9月上旬にあり、それから図面を解説し問題点を見つけ、施工方法を考え練習をしました。出場が決定し、大会直前まで、放課後、夜間、休日とはほぼ毎日、8月に出場した若

第35回農芸祭報告

「輝け農芸生たちよ!! 心躍らせ みんなで刻もう 青春の1ページ!!」のスローガンのもと、第35回農芸祭を11月25日(土)に実施しました。天候にも恵まれ、2,300名を超える来場者となりました。運営にあたった本校生徒・教職員だけではなく、PTA、船南同窓会、そして教育後援会の皆様のお力添えで、大成功のもと終えることができ、ありがとうございます。

さて、35回を数える農芸祭ですが、本年度の取組は、生徒会・農業クラブ役員による総合案内所の開設とスタンプラリー、コース紹介のパネルや実習作品の展示発表、各コースで工夫を凝らした体験コーナー、中学生への進路相談、野菜・畜産系コースの模擬店、そしてメインの農場生産物等の即売と、多岐にわたりました。さらに、PTAのバザーや喫茶コーナー、同窓会による模擬店、教育後援会では焼きそばといった原木販売で、農芸祭を盛り上げていただきました。

生徒たちも、前日準備から、農場生産物の収穫や出荷準備、看板作りなどに積極的に取り組み、農芸祭当日には、準備してきた販売物を自信をもって来場者の方にPRし、いきいきと活動している姿に、日頃の実験・実習だけでは味わえない貴重な学習の場になっていくと感じました。

また、本年度は農芸祭閉会式後の11月28日(火)に、生徒会・農業クラブ役員が企画した農芸感謝祭を実施しました。メニューは、畜産コースが飼育した豚肉を使った豚汁、作物コースのコメを使ったおにぎり、農業学科群のジャガイモを使ったカレーライスで、日頃の学習の成果に感謝し、全校生徒で調理・会食を行い、農芸祭のあと祭りとして楽しみました。

農芸祭は、これまでの35回の伝統を受け継ぐ部分に加え、さらに毎年、新たな取り組みに挑戦し、年々進化していくこととされています。教育後援会の皆様には、今後とも農芸祭への厚い援助をお願いし、第35回農芸祭の報告とさせていただきます。(農場部長 岸根 一宏)



日本菊花全国大会

今年度も10月20日〜11月23日に大阪府和泉市(和泉華園)で開催されました第34回日本菊花全国大会に植物バイオ部で栽培した菊

を出品させていただきました。この大会は日本各地から各人と呼ばれる方々が出品し、部門ごとに花容、品位、培養を競う大会で、菊の日本一決定戦とも言われています。今年度も、福助花壇の部と三本立て12鉢花壇の部に出品させていただきました。

福助花壇の部では大会期間中に来場された方々の投票によって決まるファン投票1位とができました。また、三本立て12鉢花壇の部では12位の大阪市長賞をいただくことができました。今年夏が涼しく、作りやすかったです。今年こそは日本一を目指せるのではと思っていたのですが、10月に



やってきた台風21号、22号の影響で花卉にシミができ、腐る現象がみられました。そんな中、審査日前日、前々日の2日間、約20時間をかけての花直しに生徒たちが取り組んできた結果、何とか上位入賞することができました。菊を育てる方は年々、減少していると聞いています。本校では高校生でもできる園芸の基礎に忠実な簡単な菊づくりをコンセ

していただきます。今後は日本一を目指すとともに、地域の方や小中学生との連携を通じて、裾野を広げていくことができればとも思っています。

し銀賞を獲得した卒業生の高崎晏睦君が福岡県の代表として出場し金賞を獲得しました。西日本短大の学生として参加しプロの職人より優れた作品を作り上げました。先輩に続けるよう次回大会は表彰台を目指し、練習に取り組みたいと思っています。



部活動 および

農業クラブ 専門委員会

パワーリフティング部

昨年6月、ベラルーシ共和国の首都ミンスクで開催されました「2017年世界クラシックパワーリフティング選手権大会」に、3年生の野村優さんと、2年生の山崎悠生くんが日本代表選手として出場しました。

山崎君は、入部当初から世界大会出場を目標に練習に取り組み、2月に行われた代表選考大会では年上の選手に見事競り勝ち、サブジュニア男子59kg級日本代表の切符を手に入れました。それからさらに努力を重ね、今大会ではスクワット種目で、自己ベスト記録を更新しました。

2年連続でサブジュニア女子63kg級に出場した野村さんは、世界大会を経験しているからこそ、舞台の大きさや周囲の期待に緊張を感じることあつたようです。しかし、彼女は暑い日も寒い日も、真剣にパワーリフティングに向き合い、自分自身の記録と向き合い、練習に励んできました。そうして身につけた実力と自信は彼女を裏切りませんでした。見事ベンチプレス種目で3位、デッドリフト競技で2位、総合で3位に入賞し、合計3つのメダルを獲得しました。

教育後援会並びにPTA、学校関係者の皆様方からは多大な御支援、御声援を賜り、誠にありがとうございました。これからも頑張ります。



パワーリフティング部世界選手権大会出場支援基金会計報告書

平成29年6月16日～22日
ベラルーシ ミンスク

収入の部 (単位:円)		
項目	金額	備考
繰越	286,239	
受取利息	1	
支振基金		
合計	286,240	

支出の部 (単位:円)		
項目	金額	備考
世界大会出場補助金	285,000	出場生徒2名、引率教員1名
支援基金依頼・お礼状郵送料等		
合計	285,000	

収入 286,240円 - 支出 285,000円 = 差引残額 1,240円
差引残額 1,240円については、次年度へ繰り越します。

目標を変え、必死に頑張りました。急造ながら徐々にチームとしてのまとまりを作り上げた最後の大会に臨みました。苦しい試合展開となりましたが、笑顔があふれる1日でした。冬から顧問と投打に分かれ、真剣勝負を繰り返して練習してきたことが今では懐かし、素晴らしい思い出です。

現在は1年生2名と、相変わらずの部員不足に悩まされていますが、再起をはかるべく日々頑張っています。今後とも暖かいご支援、ご声援の程よろしくお願いたします。



陸上競技部

陸上競技部は、3年生1名、2年生2名の3名で今年度は活動を行いました。

今年度は、競技会に出場する生徒が1名のみでしたが、継続的に練習に取り組み、自身の目標設定を行い真面目に取り組みました。大会にも1名で参加するなど、人数面でも精神面でもきつ中、他校の生徒からも刺激を受けながら、大会では練習の成果を発揮してくれました。

個人種目であることから、1名での練習も可能ですが、互いに競争できる相手がいることで伸ばせる部分もあると思いますので、来年度以降新入部員が入って魅力のある部活動にしていきたいと思っております。今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願いたします。

バドミントン部

今年度、3年生の部員はいませんでした。2年生男子3名、1年生男子12名・女子4名の計19名で活動してきました。例年に比べて多くの1年生が入部したこともあり、活気のある部活動となりました。日々の練習では2年生が部活を引っ張ってくれ、しっかりと活動しており、技術の向上に努めています。大きな大会では思うような結果を残せていません。

剣道部は、現在、初心者で始めた1年生女子部員2名で活動しています。顧問3人が全員剣道経験者で、有段者という恵まれた環境のもと、稽古に励んでいます。

部員数の少なさを、近隣の園部高校等との合同稽古や、昨夏4回を迎えた本校体育館における2泊3日の夏季合同合宿を主催して、活動の場を広げています。合宿では、今年度は120名を超える府下の高校生と明治国際医療大学剣道部の方々にお世話になりました。

現在は、昇段審査を目指して頑張っています。今後とも御支援をよろしくお願いたします。

剣道部

現在、3年生2名、2年生2名、1年生3名の7名で、裏千家・村上先生の御指導のもと、活動しています。稽古が始まると一つ一つの動作や音に集中します。普段とは一味違う生徒の真剣な眼差しが存在します。今年度も農芸祭でその一端をお客様にご覧いただきました。今後とも温かい御支援お願申し上げます。



茶道部

現在、3年生2名、2年生2名、1年生3名の7名で、裏千家・村上先生の御指導のもと、活動しています。稽古が始まると一つ一つの動作や音に集中します。普段とは一味違う生徒の真剣な眼差しが存在します。今年度も農芸祭でその一端をお客様にご覧いただきました。今後とも温かい御支援お願申し上げます。

合唱部

今年度は例年の舞台に加え、亀岡市のオーケストラホストタウン交流会での合唱や大阪で開催された近畿総合文化祭でザ・シンフォニーホールの大舞台上で京都府合唱団の一員として歌うなど、素晴らしい経験ができた年でもっと部員数を増やし活気のある部活にしていきたいと思っております。

植物バイオ部

今年度も秋に行われます菊花展でよい花を見てもらうこと、そして全国大会で日本一を

いませんが、南丹市の大会ではダブルスで優勝しており、その経験を活かして来年度はさらなる飛躍につながるように、部員が日々、技術を競いながら活動しています。

今後ともバドミントン部の活動にご支援いただきますよう、よろしくお願いたします。

硬式テニス部

硬式テニス部は2年生1名、1年6名(うち女子1名)の計7名で活動しています。初心者の多いチームですが、日々の練習を通して着々と技術を高めてきています。

今年度は高体連の試合だけでなく、ジュニア大会にも積極的に参加し、3回戦進出を果たした部員もいました。高い目標をもって、こつこつと努力を積み重ねることができるようになってきており、レベルが上がっているのが分かります。

また夏には、綾部高校テニス部との合同合宿を滋賀県大津市で行いました。お互いのチームが新鮮な気持ちで練習を行うことができ、収穫の多い合宿になりました。

個人のプレーが中心のテニスですが、日々の練習ではチームを意識し、礼儀・マナーを正して活動することを目標にしています。コートでのコンディションが非常に厳しい中で、工夫をしながら真面目に練習に取り組んでいます。

今後とも温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願いたします。

サッカー部

サッカー部は、人数は少ないですが、近隣の高校と合同チームを組み、週末には合同練習を行っています。また、昨年度から合同チームでの公式戦出場が可能になり、人数が少ない中でも公式戦に出場しています。

さて、今年度のサッカー部を振り返ると、3年生のキャプテンの



ことが印象に残ります。昨年、サッカー部が一人になってから、一度も弱音を吐くことなく、黙々と練習に取り組んできた彼は、合同チームで「U-18京都リーグ3部」の大会に出場し、8戦中3勝という結果を残しました。これまでの公式戦で一度も勝利をおさめたことがなかった彼が本気で仲間と喜んでいる姿には、なんともいえない充実感と感動があり、私自身も合同チームの顧問の先生と抱き合っって喜びました。素直に嬉しかったのですが、今後とも部員不足が予想されます。ですが、彼のように「続けてよかった」と思える部活動の運営を目指します。「チーム意識」と「感謝の気持ち」を忘れず、サッカーをしたい子供たちのために全力を尽くします。来年度も温かいご支援をよろしくお願申し上げます。

卓球部

今年度の卓球部は1年生が2名、2年生が2名所属しています。未経験者が多く、基礎技術の習得を目指し、「1セット、1点でも多く取る」という気持ちで練習に打ち込んでいます。部活動だけでなく学習活動にも積極的に参加し、学業との両立を目指して取り組んでいます。今後とも応援をお願いします。

バスケットボール部

今年度は、3年生5名、2年生9名、1年生5名、マネージャー3名(女子3名2名、1年1名)の合計19名で活動がスタートしました。3年生は11月のウインターカップで引退したため、現在は15名となっています。3年生が引退したおかげで、2年生中心のチームになってから、「勝つためにはどう取り組む必要があるか」という話し合いが増え、「以前より「チーム」という思いをもつ



柔道部

今年度の主な成績は左記の通りです。体育コースのない公立高校では安定した結果であるといえます。キャプテンの中場君、2・3年生の上級生のリードのもと、部員全員が日々努力し頑張っています。

近隣の高校に柔道部のある学校がなく、校内での部員たちだけの練習では不十分です。しかし、部活動に部員全員が熱心に取り組む、自分たちで練習方法も工夫し、日々頑張っています。高体連主催の公式戦でも好成績を残すこともできました。

日々、「一つ上へ、一歩前へ」をモットーに活動を行っています。教育後援会の方々、保護者の方々にはさらにご助言、ご指導を頂きながら、より高い結果を出したいと思っております。今後とも応援をよろしくお願いたします。

【主な成績】京都府公立高校大会男子団体2部 準優勝、京都府公立高校大会男子個人の部 優勝、吉田薫平、京都府公立高校大会男子個人の部 準優勝、香場弘之、京都府公立高校大会男子個人の部 3位、中野隆聖、一般の部 準優勝、中野隆聖、馬場弘之、全国柔道選手権大会京都府予選(男子個人体重別) ベスト8、西川和樹、全国柔道選手権大会京都府予選(男子団体) 9位、中野隆聖、馬場弘之、西川和樹

畜産部

今年度、畜産部は男子3名女子2名で活動してきました。365日欠かすことのない飼養管理」をテーマに土日祝日問わず、毎日継続して作業を行う事で社会に出ても頑張れる人材になれるように活動を行っています。

平成29年度は、岡山県真庭市で開催された「第32回中国地区B&Wシヨウ」で本校から出品したマリリン号がリザーブグランドチャmpionsを獲得し、3年連続7回目の最優秀高校生賞を受賞しております。また生徒も日々の努力を実感できたことだと思っております。

今後とも活躍できるよう精一杯取り組んで参りますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。



造園部

造園部では、技術習得を目指し、造園技能検定の取得に向けての取り組みや校内に植えられた樹木の剪定作業や実習場の管理、施設の改修、補修など、日々の校内美化活動にも取り組んでいます。

校内整備として3年前より取り組んでいる「笑顔の交差点」おしい庭づくり」をテーマに農場入口のスペースにビザ案を作り、その周辺にベンチ、テーブルなどを配した庭づくりを行っており、本年度、完成することになりました。

また、本年度も近隣寺院の庭園の管理を任せていただき、技術の向上とともにボランティア精神を養うことができ、地域に貢献することができました。

技能五輪全国大会においては造園部から14年連続で京都府代表として1名の部員が出場

教育後援会 事業及び会計報告

平成28年度 教育後援会 事業報告

Table with 4 columns: 月, 日, 事業名, 内容. Lists various activities like general assembly, training, and events.

平成28年度 会計決算

収入総額 1,531,205円-支出総額 841,262円 =差引残額 689,943円 (次年度へ繰越)

Income Statement Table (収入の部) with columns: 科目, 本年度予算額, 決算額, 比較増減, 備考.

Expenditure Statement Table (支出の部) with columns: 科目, 本年度予算額, 決算額, 比較増減, 備考.

平成28年度 特別積立金報告

Table for Special Reserve Fund Report (特別積立金) with columns: 科目, 繰越額, 本年度積立額, 利息, 積立金合計額, 備考.

平成29年度 教育後援会 事業計画

Table with 4 columns: 月, 日, 事業名, 内容. Lists planned activities for the next year.

平成29年度 会計予算

Income Statement Table (収入の部) with columns: 科目, 本年度予算額(a), 前年度予算額(b), 増減(a)-(b), 備考.

Expenditure Statement Table (支出の部) with columns: 科目, 本年度予算額(a), 前年度予算額(b), 増減(a)-(b), 備考.

平成29年度 特別積立金会計予算

Table for Special Reserve Fund Budget (特別積立金) with columns: 科目, 繰越額, 本年度積立額, 積立金合計額, 備考.

環境部

環境部では今年度も農業クラブ平坂測量競技会に向けての活動と専門的な資格取得に取り組まれました。7月24日に平坂測量競技会の京都府大会が北桑田高校で行われました。

野菜部

野菜部では、野菜の栽培方法について基礎・基本を学ぶことを目標に1年間活動してきました。部員が全員寮生ということもあり、船南寮の小さな圃場を実習場所としてきました。

草花部

草花部では昨年度より多肉植物の栽培を中心に取り組んできました。今年度は多肉植物の寄せ植えや、ハオルシアの販売などを事務室前で行い始め、多くの方に取り組みを紹介することが出来ました。

台湾農業研修を終えて

農業科 湯浅 維

平成25年から始まった本研修も今年で5回目となりました。京都で農業を学ぶ生徒が海外の農業事情を知ることでグローバルな視点を養い、現地で農業を学ぶ生徒と国も言葉の壁も越えた交流を通して、ひと回りもふた回りも成長してほしいという願いから実施をしています。



バスを降りると全生徒が校門から体育館までの道路沿いを埋め尽くし、「ようこそ」と日本語で書かれた看板を手に笑顔で歓迎してくれました。日本からは農芸高校2年生の林龍成くんが中国語を交えたあいさつを行い、また各校から学校紹介のプレゼンテーションを行いました。その後、花のジャムづくり、CADでレーザー彫刻、焼き菓子づくりなどを現地の高校生に教わりながら行いました。はじめは緊張していた生徒達でしたが、最後には一緒に写真を撮ったり握手を交わしたりと別れを惜しむ様子が見られました。



大学の学生が生徒4人に1人ずつ付き添い、約6時間の楽しいひとときを過ごしました。ホテルへ帰宅して来た時の生徒は全員とても満足した顔をしており、おみやげや食事の話で盛り上がりました。最終日は忠烈祠の見学です。忠烈祠では門兵が交代する様子が見学でき、生徒達は興味津々で行進する兵士を撮影したり、一緒に行進をしたりしました。そして、最後の研修は飲茶体験です。本場の烏龍茶を楽しむことができました。研修を終えて、この4日間は非常に短く感じました。しかしその中で、生徒達は海外の文化や習慣を理解する柔軟な姿勢と、国や言葉の壁にとらわれず、自ら積極的に人と関わる力を身につけたと実感します。この台湾研修の経験が自信となり、今後の学校生活や社会でも活躍していく人材となることを期待します。

